

まほろば秦野通信

令和4年3月10日

タイトル	【報告】市内医療機関における新型コロナワクチンの廃棄
When (いつ)	3月9日(水曜日)
Where (どこで)	市内医療機関
What (なにを)	3月9日(水曜日)に、市内医療機関においてワクチンの保管に不適切な取扱いがあり、ワクチンを廃棄することになりましたので報告します。 【破棄するワクチン数】 9バイアル(54回分)
How (どのように)	【経過及び対応】 3月8日(火曜日)の午後、当該医療機関において電気使用量が一時的に上昇したことによってブレーカーが落ちた可能性があり、ワクチンを保管する冷蔵庫の電源が喪失している状態となりました。
Why (なぜ)	翌日の3月9日(水曜日)午前11時頃、当該医療機関に勤務する薬剤師が、当日午後に使用するワクチンを常温に戻そうとして冷蔵庫を開けた際に、庫内が冷えておらず通電していないことがわかったため、市に報告がありました。国やメーカーが定めた取扱いの規定に従い、当該ワクチンを市が引き取り、廃棄することとしました。
今後の取り組み	ワクチンの適切な保管方法について、接種を実施する全ての市内医療機関に対し、電気管理に関する注意点などを改めて周知しました。引き続き、再発の防止に努めます。 ワクチンを廃棄したことによる、今後のワクチン接種への影響はありません。
問い合わせ	新型コロナウイルスワクチン接種推進課 担当：大庭 電話：0463-86-6837